

グループ遊びにおける 言葉について

松江幼稚園

本間恵美子

項目	例
攻撃	その次まさゆきちゃんとな。
拒否	ふさこちゃんいやだ ばくちんいつもかぎしめてあってはいれないよ。
否定	こんなどこないよおきやくさんのれないぞ。 あるけどだめなんだよ。
命令	三角のも持ってこいよここがいいや。 おまえとたかしなれよ。
自己主張	ここんどこうやってやるんだよ。 おれけいじ。おれはばんべいするよ。
叫び声	だ……………。 どん……………。
感情表現	くすぐりたいや。おかしいや。
想像	どろぼうごっこにしょう。 どろぼうは悪い事をするんだよあのままごとの道具 やなんかぬすむんだよ。
依存	ゆうぞうちゃんの家いいものがいっぱいあるぞう
借用依頼	これかしてね。
依頼	ひでおちゃん積木の板持って来て。
聞きかけ	レコードかけていい。 先生いいかよ。
応諾	いいってさ。しってる。 いまかえかいているんだよ。
従属	ここに持ってきたよ。
応諾	うん つくろう。うん しょう。
承諾	ひろしちゃんの次でいいよ。
参加依頼	入れて。あたしも入れて。
呼びかけ	おーいみんなのってくれ。
誘いかけ	おーい舟つくろうよ。つねちゃんおいでよ。 しんちゃんもしないか。

第一表で縦の欄は言葉の心理機制的分類で

すが、これを、闘争的な色採の濃いものから

子どもたちの性格形式をする上に大きな役割を持つと考えられる日々の子どもの遊び(言葉を主として)を観察して参りました。

本年四月初より始め七月に至る四ヶ月間、毎日一二件のグループ遊びについて観察し、その会話を記録いたしました。遊びの中

には、あまり話をしないでもできるものもあるわけですが、子どもの言葉の問題を中心に観察を、試みているので、ここに出てくる遊びは比較的記録のとりやすいものを選びました。

た。

なおその言葉のあらわす心理的な意味を十

表1

備考	ままごと	話し合い	色水遊び	砂遊び	音楽を聞く	絵を画く	飛行機作り	声くらべ	鉄棒	虫捕り	石けり	かくれんぼ	乗物遊び	ビー玉遊び	めんこ	飛行機とばし	おしくらまんじゅう	消防ごっこ	角力	鬼ごっこ	泥棒ごっこ	ギャンブル	戦争ごっこ			
				○																			△△	攻撃		
	○	△			△△								△△	△△	△△		○							△	拒否	
	○	○△		△		△				△			△△	△△	△△					△△				△	否定	
	○	△	○		△△						○		△	△△	△			○	△△		○	△△	△	△	命令	
	○	○△		○△△	△△	△		△	○	△△		○	△△	△△	△△		△	△			△	△△	△	△	自己主張	
	○	○△		△	△△			△	○	△△			△△	△△	△△			△			△	△△	△	△	呼び声	
	○	○△		△	△△			△△	○	△△			△△	△△	△△			△	△△					△	感情表現	
男△	△	△△	○		△△			△		△			△△	△△			○	△				△△	△	△	想像	
	○	○△			△△			△				○	△△	△△										△	依存	
女○	○	○△			△△			△					△△	△△										△	借用依頼	
	○	○△		△	△△			△		△			△△	△△			○	△		△				△	依頼	
	○	○△		△	△△			△		△			△△	△△			○	△		△				△	聞きかけ	
	○	○△		△	△△			△		△			△△	△△			○							△	応答	
	○	○△			△			△					△△	△△												従属
	○	○△			△			△			△		△△	△△						○	○		△△	△	応諾	
	○	○△		○	△△			△			△		△△	△△				△	△				△		承諾	
	○	○△		△	△△			△			△		△△	△△				△			○	○	△△	△	参加依頼	
	○	○△		△	△△			△		△			△△	△△			△					○	○	△	呼びかけ	
	○	○△		△	△△			△					△△	△△							△	△	△	△	誘いかけ	

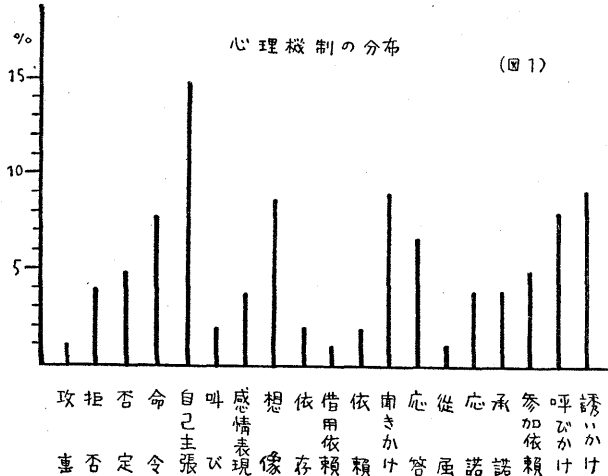
和合的なものへと配列して見ました。同様に遊びの種類も右から左へ闘争的なものから和合的なものへと列べて見ました。そうして、どんな遊びに、どんな言葉が多く使われるかを調べて見たのですが、始めの予想では、和合的な遊びには和合的な言葉が多く使われ、闘争的な遊びには闘争的な言葉が多く使われているだろうと思ったのですが、実際には予想を裏切って和合的と見られる遊びの中に、拒否、否定、命令、自己主張等の闘争的な言葉が多く使われています。男女についても同様に、案外女子が闘争的な言葉を多く使っています。

次にどんな言葉が多く使われているのか見てまいりますと、表1の言葉の心理機制の各分類的

	誘いかけ	呼びかけ	参加依頼	承諾	承諾	従	応答	聞きかけ	依頼	借用依頼	依存	想像	感情表現	叫び	自己主張	命令	否定	拒否	攻撃
四月	13	9	11	7	6	1	7	9	3	1	2	7	7	3	27	16	2	5	1
五月	9	7	6	2	7	2	8	12	1	2	3	7	2	0	17	5	6	8	2
六月	4	11	4	6	2	1	6	11	2	0	0	17	4	0	8	1	7	5	0
七月	9	7	1	2	0	0	9	6	3	0	0	4	5	4	7	9	6	0	0
計	35	34	22	17	15	4	30	38	9	3	5	35	18	7	59	31	21	18	3

それぞれがどのように各月に配分されているかを示したのが表2であり、その総計をグラフにあらわしたものが図1です。

全体として最も多く使われている言葉は



自己主張、想像、誘いかけ、聞きかけ、呼びかけ、命令、応答

です。ことに自己主張は全体15%のを占めて、圧倒的に多いが分かりました。次に各月による変化を見ますと、最も頻度の高い自己

主張が月を追うにしたがって減少しているのは、興味のあることで、これは子供たちが次第に社会性を持ちつつあると見ることが出来ます。命令も大体そうした観点で見ることが出来ます。

想像の項が六月に著しくなっていることは、七月の減少と比較して一見疑問のある所ですが、七月の記録回数が少なかったことも影響していると思います。

なお男女の遊びも心理機制の分布と関連させてみますと表3のようになります。

すなわち、男子は「乗物遊び」、女子は「おままごと」として男女共通したものとして「砂あそび」と話し合いについて各々その心理機制を分布図にあらわしてみました。

その特徴についてみますと、男子に比べて女子だけの「おままごと」はより多くの心理機制がはたらいっていることがわかります。

更に心理機制の内容をみますと、男の子の「乗物遊び」には自己主張と「想像が多いのですが女子の「おままごと」は「命令」や

— 表3 —

心理機制の分布と男女差

	誘いかけ	よびかけ	参加依頼	従属	応答	ききかけ	依頼	想像	自己主張	命令	否定	拒否
男												
女												
共												
通												

乗物

ごま

砂あび

話合い

「よびかけ」が多くなっています。「砂あそび」は「自己主張」と「よびかけ」「誘いかけ」が多く「話し合い」は「自己主張」と「ききかけ」などが多くなっています。

子どもたちの遊びはその内容によって心理機制面の男女の差がこのような遊びを通して明瞭になってくることは興味深く感じられます。

ただ見ていたのでは分らない子供の心理がその言葉を分析することによってはっきりしてまいります。

静的なおとなしい遊びをしていると思われる女の子も、その言葉において、男以上に闘争的な面があらわれていることを考えますと、男女を問わず、すべての子どもが闘争的

です。このように、子たちに、子たちは子たちなりに、自由に、自由な遊びの中に自分を生かしつつ、人間形成を行って行っていると言えま

遊びの姿もその外形

な面も和合的な面もその表現手段こそ違いますが、同じように、それぞれ發揮しているところが発見できました。

なお一人の子どもについて継続観察も今後考えられると思います。

○月 ○日	氏名	砂 あ そ び	心理的機制による分類
	たかつぐ	てっちゃん いない	(聞きかけ)
	本 間	てっちゃん 外にいったわよ	(応 答)
	たかつぐ	だっていま おそとみて きたんだもん	(自己主義)
	本 間	じゃもういっかいみにいってみましよう	(呼びかけ)
	たかつぐ	てっちゃん いないかなあ てっちゃん	(誘いかけ)
	てつろう	あつ たかちゃん おいでよ 電車のし	
	たかつぐ	ゃこつくってたんだ	(参加依頼)
	てつろう	ぼくも入れて	(自己主張)
	てつろう	いちろうちゃんもいるんだよ	

つきに「グループ遊びに於ける言葉」の記録の一部を掲載いたします。なお表の右欄は、子どもの言葉についてその心理機制を分類したものであります。

○月 ○日		
氏名	電 車 ご っ こ	心理的機制による分類
かつみ	ここのりばね	(想 像)
てるあき	こんなどこないよ おきゃくさん のれ ないぞ	(否 定)
かつみ	じゃあ なおすよ	(応 諾)
かつみ	りょうちゃん なおしてくれよなあ	(依 頼)
りょうち	うん だけど どうやんの	(応 諾)
かつみ	いいよ いいよ 走らすよ	(自張主張)
てるあき	おかしいや	(感情表現)

○月 ○日		
氏名	話 し 合 い	心理的機制による分類
ゆうぞう	ほくの家で げんとう みたんだよ	(自己主張)
たけだ	おもしろかったぞ そいでよ おかし もらっちゃった	(感情表現)
てつろう	よしおちゃんも 見たの	(聞きかけ)
まさる	ほくなんか いつも 見せてもらうから たくさんみたよ	(自己主張)
ゆうぞう	まさるちゃん ほくんに いつもくるかね	(自己主張)
まさる	ゆうぞうちゃんの家 いいものが いっぱい あるぞう	(依 存)
たけだ	ほくんち ないんだ	(自己主張)
まさる	ほくんち だっても あるけどさ	(自己主張)
たけだ	まさるちゃんち いこうかな	(聞きかけ)
まさる	ほくんち いつも かぎしめてあつてはいれないもの	(拒 否)
たけだ	なんだ つまんないの ないのにあんな事いってらあ	(感情表現)
まさる	あるよ あるよ	(自己主張)
たけだ	じゃあ 見せて	(聞きかけ)
まさる	あるけど だめなんだよ	(否 定)

○月 ○日		
氏名	ま ま ご と	心理的機制による分類
まさみ	あんた遊ばない	(誘いかけ)
つこ	うん 入れて	(応 諾)
つねこ	あたしも入れて	(参加依頼)
つせつこ	つねこちゃんも入れてあげようねお人形ごっこしようよ	(応 諾)
ふさつこ	入れて	(参加依頼)
せつこ	ふさこちゃん いやだ	(拒 否)
まさみ	あらかわいそうよふさこちゃん子どもね	(感情表現)
せつこ	あたしはおねいさん	(自己主張)
せつこ	あたしお母さんと、つねちゃんもおねえさんね	(//)
//	おねえさん早くおつかいにいってきて下さい	(想 像)
	おいしいものごちそうつくるから子どもはまっているのよ	